

新市立病院整備市長タウンミーティングにおける意見概要

会場：箕面市立病院リハビリテーション棟4階

いろはホール

令和4年12月25日 午後2時開催

No.	ご意見・質問内容	回答内容
1	平成29年の市議会で市立病院の老朽化が問題で移転建替えが決定された記憶があるが、公立病院として公務員で運営されないなら内容が違うので白紙ではないのか。	平成29年12月の市議会では、老朽化への対応が喫緊の課題であるとして議論が進められました。大規模改修による長寿命化か、現地もしくは移転での建替えかを検討した「箕面市立病院リニューアル調査検討報告書」において、現地建替えと移転建替えが両論併記となったことから、市議会でも検討をいただいた結果、移転建替えすることが議決されました。その経緯を踏まえ、新病院は公立病院として移転整備します。
2	指定管理になった場合、看護師、理学療法士、事務員等市立病院で勤務している職員はどうなるのか。	職員は分限免職となりますが、現市立病院職員で指定管理者法人への就職を希望する者を全員雇用することを条件に、指定管理者法人を公募する予定です。
3	基本構想（案）において「広域災害時や、新興感染症にしっかりと対応する病院」とあるが、災害や新興感染症に対してしっかりと対応できるのは公務員であり、指定管理者が運営するのであれば民間の対応になる。そういった部分に公務員の義務としてどう対応していくのか。	箕面市立病院では災害及び新興感染症の対応について、これまでも大阪府の指導のもとしっかりと対応してきました。指定管理に移行した際も公立病院として整備する以上、運営が民間になったとしても当然これまで同様に対応します。
4	指定管理に移行した場合、医療法人の経営となり利益を優先するので不採算部分は切り捨てると思われる。分娩については市立病院で取り扱われるべきである。障害者医療が切り捨てられるのではないと思う。	市立病院の分娩件数は過去多いときで年間約1,200件ありましたが、令和3年度には年間約80件まで減少しています。市立病院の減少分は市内や近隣市の民間病院が担っているのが現状です。箕面市立病院の場合、大阪大学医学部から医師の派遣を受けていますが、大阪大学医学部としては、今後拠点を絞って派遣先を集約していく方針と聞いています。そのような状況で、市として分娩の取扱いを必須とはできないと考えていますが、指定管理者から医師を確保できるという前提で分娩を継続する提案があれば実施していきます。
5	指定管理者制度を採用した他の事例では給料が下がって職員が半分くらい退職したと聞いた。	指定管理者制度を採用した自治体では、さまざまな対策を取って人材確保に取り組まれているので、本市としても何らかの対策を講じるよう検討しています。
6	現市立病院の敷地は広いが、新病院の敷地はどのくらいの広さか。駐車場は現病院と同等数は確保されるのか。	新病院の敷地は、約14,000㎡で現市立病院と比較すると約半分の面積になります。駐車場につきましては、自走式の立体駐車場を整備する予定で、駐車台数は市の条例に基づいて確保します。
7	民間の医療法人が経営することになるが、万が一その法人が倒産した時はどうなるのか。	万が一倒産した場合は、市が病院事業を継続する対策を取りますが、まずは、そのようなことが起こらないよう、指定管理法人を公募する際に財政基盤も含めてしっかりと調査した上で選定することが最も重要であると考えています。
8	現市立病院の広い跡地利用はどうなるのか。	現市立病院の跡地には、学校を整備する予定です。
9	直近では川西市が指定管理者制度を採用しているが、あまりうまくいっていないと聞いているがどうか。	川西市は指定管理者制度を採用して病院運営が行われていますが、診療科も増え、救急にも対応できており、市民から喜ばれていると聞いています。
10	国の政策で再編統合を推し進めているということで、豊能二次医療圏で病床数が過剰になっていると説明されたが、過剰という根拠は何か。	医療法上の規定により、病床過剰となっています。
11	知人が箕面市立病院の産科で診療を受けた際、分娩については新生児集中治療室がある市立豊中病院に移って欲しいと紹介され、安心して出産できたと聞いた。池田も豊中も一定の分娩件数があるが、箕面市で分娩件数が減ったのにも何か原因があったと思われる。一般会計から繰り入れしてこなかったのが問題ではないか。	分娩については、現在でも近隣病院と連携し役割分担を行っています。例えば、集中治療の必要性や先天性の疾患があり当院で対応できない場合などは、市立豊中病院や大阪大学医学部附属病院、国立循環器病研究センターを紹介し対応いただいています。箕面市立病院での分娩件数の減少についてはこれまでも調査を行ってきましたが、アメニティの充実や食事の工夫においてニーズに応え切れなかったことが原因と考えています。
12	回復期リハビリ病床はどうなるのか。残して欲しいという声をよく聞く。	回復期リハビリテーション病床50床は、特定病床であるため、新病院に移行できませんが、再編統合により回復期リハビリテーション病床も確保していきたいと考えています。

No.	ご意見・質問内容	回答内容
13	説明であった整備費の300億円前後について、国から補助が出るとは言え、箕面市の財源はどこにあるのか。	主な財源は病院事業債となり、市及び指定管理者が償還していきますが、再編統合による国からの交付税措置をしっかりと活用することで、市の負担を軽減させたいと考えています。
14	保健所について、現在は池田市にあるが、昨今の新型コロナウイルスへの対応に追われ、勤務状況も悪く、とても悲痛な意見を聞いた。池田保健所職員の命を守るためにも箕面市から大阪府や国へ意見を述べて欲しい。	箕面市の保健師を池田保健所に派遣し応援を行っています。今後も大阪府や国とも密に連携、協議のうえ取り組んでいきます。
15	再編統合しないといけないことは理解したが、指定管理にしないといけない理由は何か。民間の病院と市立病院が統合し、市立病院側が統合先の病院を吸収合併するということはできないのか。	再編統合のためには、豊能二次医療圏内に統合先がないとできません。調査したところ統合できる可能性のある法人が複数ありましたが、いずれの法人も統合後は自ら病院を運営する意向であったため、統合先の法人を吸収合併して箕面市で運営するという方法では再編統合が成立しません。再編統合を実現させるためには、指定管理者制度の導入しか選択肢がないこととなります。再編統合できなければ、病床数が増床できず、今後の医療ニーズに応えることができません。公立病院でありながら患者の受入れを断らざるを得なくなってしまいます。また、一定の症例数が確保できないと医師の派遣を受けることが難しく、医療の質の低下を招くこととなります。病床と症例数を確保することにより医師を確保し医療ニーズに応える必要があります。
16	財政状況を確認する附属機関の委員の選定はどのように行うのか。結果は市民に対して公表されるのか。	委員についてはまだ検討段階ですが、これまで箕面市新市立病院整備審議会に関わっていただいた学識経験者や病院経営者、大学教授などから選定していく予定です。また、附属機関による評価結果については当然市民の皆様にも周知します。
17	新病院では敷地が狭くなるのに病床数が増えるというイメージがつかない。建物配置や平面プラン、診療科の配置等の計画イメージが知りたい。	建物の配置をはじめ、具体的な計画はこれから進めていきます。新病院は敷地が狭くなる分、高層化する予定ですが、コンパクトでわかりやすく効率の良い動線とし、機能的な配置となるよう計画を進めます。
18	指定管理者の運営により赤字経営になった場合、市から補填するの	指定管理者の運営により赤字経営になった場合でも、市から補填することは考えていません。
19	説明の中では検討中、考えますという説明ばかりだったがいつまでにはっきり決定されるのか。予定敷地に完成予想図の看板が設置されているが、建物が建ってから民間の指定管理法人が入るとい	指定管理者制度については、議会の議決を経て決定されるもので、議決後に公募を行い候補者を決定します。指定管理者の候補となる法人を決定した後、法人の意見を取り入れながら建物の計画や設計を進めていきます。
20	箕面市から市立豊中病院や市立池田病院へ通っているひともいる。箕面市、豊中市、池田市の3都市で連携して欲しい。	(ご意見のみのため、回答なし)
21	指定管理の法人はもう決まっているのか。	議会にて指定管理制度の導入が議決された後、指定管理法人の公募を行いますので、当然ながら現時点で指定管理法人は決まっています。
22	交通アクセスについて、東西方向のアクセスについては何か検討しているか。	現在、北急延伸にあわせてバス路線網の見直しを検討しています。また、オレンジゆずるバスは病院移転時に、新病院へのアクセスについて改めて検討します。
23	全室個室を整備することにより、人気が高まり全国から来院者が増え、箕面市民の患者が入院できなくなるということはないか。	感染症対策やプライバシーの保護に配慮し全室個室を整備するもので、来院者は増加すると思われませんが、他市から選ばれて来院いただくことは望ましいことだと考えています。